

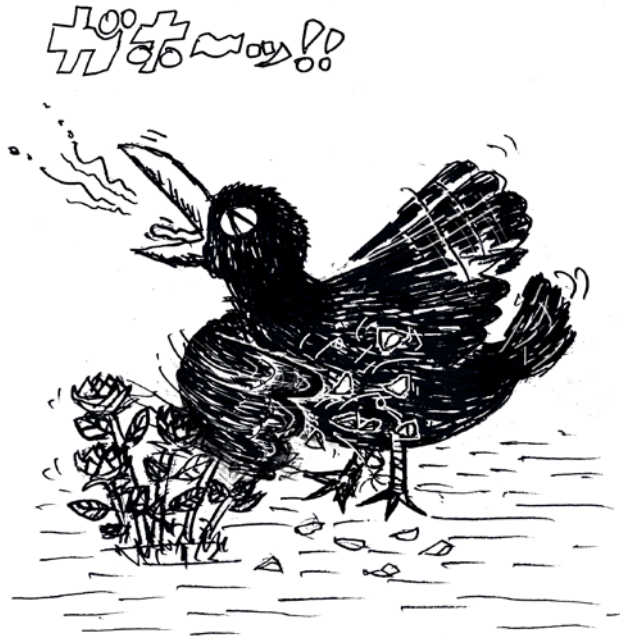
## MIS<sub>t</sub>10 芽胞は叫ぶ

### 【ガオー！ガホー！ バラ散らすカラス（トリ）】

がほー	ばらちらす	からす(トリ)
芽胞	バチラス(バシラス)	クロストリジウム

芽胞は強い。打たれても焼かれても耐え、じっとチャンスが来るまで待っている。そんな芽胞が発芽してしまったら怖いぞ。まるで大声でわめきながらきれいなバラをめっちゃめっちゃにしてしまうカラスのようである。

そして、参考までに言っておくとカラスは鳥類なんです。忘れてしまわないように（トリ）って付記しておきましたよ。



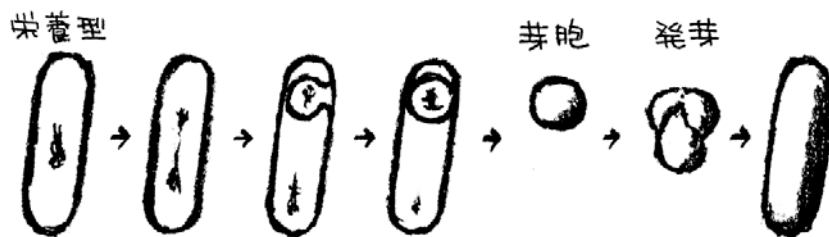
- 芽胞とは、菌体が生存・存続するための器官(変態形)であり、一部の菌しか有しない特殊な菌の形態である。
- 抵抗力が強く、特に乾燥や熱、消毒薬に耐える
- 栄養型の菌として生育・増殖が困難な環境になると形成、自ら休眠状態となり、環境が(菌にとって)改善されると「発芽」し「栄養型菌」となる。

#### ●芽胞を有する菌

*Clostridium* 属 (ボツリヌス菌・ウェルシュ菌・破傷風菌・デフィシル菌)

*Bacillus* 属 (炭疽菌・枯草菌)

#### ●芽胞の消退



## 芽胞 spore

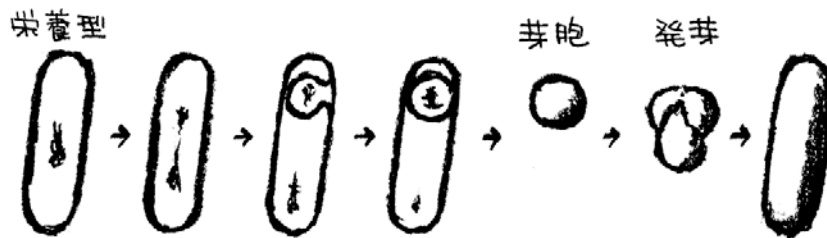
- ・芽胞とは、菌体が生存・存続するための器官(変態形)であり、一部の菌しか有しない特殊な菌の形態である。
- ・抵抗力が強く、特に乾燥や熱、消毒薬に耐える
- ・栄養型の菌として生育・増殖が困難な環境になると形成、自ら休眠状態となり、環境が(菌にとって)改善されると「発芽」し「栄養型菌」となる。

●芽胞を有する菌(病原性菌の範囲で)

*Clostridium* 属 (ボツリヌス菌・ウエルシュ菌・破傷風菌・デیفイシル菌)

*Bacillus* 属 (炭疽菌・枯草菌)

●芽胞の消退



●芽胞の形成

形態	モデル図	菌種
中央性芽胞		炭疽菌 <i>B.anthraxis</i> セレウス菌 <i>B.cereus</i> 枯草菌 <i>B.subtilis</i>
中央性～偏在性芽胞		ウエルシュ菌 <i>C.perfringens</i>
中央性～偏在性芽胞		ボツリヌス菌 <i>C.botulinum</i>
端在性芽胞		破傷風菌 <i>C.tetani</i>
偏在性～端在性芽胞		デیفイシル菌 <i>C.difficile</i>